あいち農産物生産流通レポート

平成２２年１月号

◎情報サロン
・ネットでチャレンジ！あいち食育いきいき検定を実施
（食育推進課）……………… １

◎地域トピックス
・第９回ジャンボ梨コンテストの開催
（豊田加茂農林水産事務所）……………… ２

◎東日本情報
・企業の農業参入について
（東京事務所）……………… ３

◎西日本情報
・「あいちのかんきつフェア」大盛況でした
（園芸農産課）……………… ５

◎フラワーページ
・花の王国あいち推進事業について
（園芸農産課）……………… ７

◎青　果
・愛知産青果物の動向（名古屋・東京市場）…………………………………… ８
・名古屋・東京市場における青果物の１月の見通し ……………………………… ９

◎花　き
・切花・鉢花の１月の見通し（県内市場）…………………………………… ２１

◎輸出入
・主要農産物の輸出入実績（２００９年１０月）…………………………………… ２５

◎関連指数 ……………………………………………………………………… ２６

内容についての問い合わせ先
愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ　(03)-5492-5400
愛知県農林水産部食育推進課　(052)-954-6417

情 報 サ ロ ン

食　育　推　進　課

ネットでチャレンジ！あいち食育いきいき検定を実施

ー楽しみながら食育の知識を広げてみませんかー

本県では、県民の皆さんに食に関する知識や関心を深めていただくため、自治体としては全国初となる、インターネットを利用した食育検定を実施しています。

この検定は無料で何度でも受検することができ、結果をすぐに知ることができます。

１ 内　容

(1) 出題分野

主に食育基本法、あいち食育いきいきプラン、朝ごはん、栄養バランス、郷土料理、地産地消、食の安全・食品表示、愛知の農業・漁業などの分野から出題します。

参考ホームページは、**「食育ネットあいち」**のホームページで紹介しています。

(2) 受検コース

「こどもコース」と**「一般コース」**の２種類で、受検資格は特にありません。

「こどもコース」：２５問出題、制限時間４０分※

「一般コース」　：５０問出題、制限時間８０分

※こどもコースは、小学５年生から中学生程度を対象とした内容です。

２ 受検可能期間

平成２２年１月１５日（金）
午後５時まで

３ 受検結果の表示

全問解答後または制限時間終了後に、次の結果を表示します。

・得点と合否
・出題分野ごとの得点率(レーダーチャート)
・得点ランキング

○受検コース選択画面

４ 合格証の発行等

合格者のうち希望者には、合格証を発行します。（送料は自己負担。）

一般コースの合格者(合格証の発行を希望された方で、県内に在住又は在勤の方に限る)には、愛知県食育推進ボランティアについて紹介した資料を送付しています。

食育検定へのアクセスは、愛知県の食育 web サイト「食育ネットあいち」(http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet)を検索し、をクリックしてください。

地域トピックス

豊田加茂農林水産事務所

第９回ジャンボ梨コンテストの開催

豊田市では特産の「とよたジャンボ梨」が生産されています。

この梨の品種は「愛宕」ですが、通常の梨に比べ３～４倍くらい多く摘果し、着果量を減らすことで１個当たりの重量を１ｋｇ程度まで大きくなるよう育てられています。最近では生産量が増加し、猿投地区の梨農家約７割で生産されるまでになっています。

１１月１３日にＪＡあいち豊田選果場にて、「第９回ジャンボ梨コンテスト」が開催されました。豊田市内の梨生産農家を対象に行われ、２０点の出品の中から、愛知県知事賞他５点が特別賞に選ばれました。マスコミ取材も中日新聞やメーテレ等多いことから、今回から愛知県知事賞交付対象事業となりました。

審査項目は「重量」「胴回り」の２項目のみで、「ジャンボ梨コンテスト」ならではの分かりやすい審査が行われました。１等の梨は３．２８ｋｇと２等の２．８７ｋｇを大きく引き離した重量となりました。今年のジャンボ梨の作況は１０月の台風１８号の影響はほとんど無かったため、数量は平年並みですが、８月までの長梅雨のあと一転して９月は降水量が少なかったため、大きさは全体的に小振りとなりました。

ジャンボ梨の出荷時期は１１月１３日から１２月２０日までで、最盛期は１１月下旬から１２月上旬です。毎年９０ｔ程度が主に地元中京圏へ出荷され、関東や関西へも出荷されました。地元農協の直売所でも２個入２,５００円～４,２００円で販売され、ジャスコなどの大手量販店でも販売されました。

写真１　１等のジャンボ梨
大半は２．５ｋｇ前後でしたが
１等は３．２８ｋｇでした。

写真２　ジャンボ梨写真
大きい割には甘みのあるおいしい梨です。

東 日 本 情 報

東京事務所農産物流通対策グループ

企業の農業参入について

在京流通行政連絡会では、企業の農業参入をテーマにして 12 月１日、16 日の２回にわたり講演会が開催されました。 講演内容の骨子については以下の通りです。

１．「ワタミファーム・農業への取り組み」（（株）ワタミファーム社長　武内智氏）

＜有機農業の導入経緯＞

武内智氏は大学卒業後、外食企業を経て 30 代で独立し、食品会社を経営していたが、業務を通じて生産現場に興味をもつようになり 14 年前、群馬県で山林を借りて開墾し、農場をつくった。このときの仲間から有機農業について学んだ。

2001 年ワタミフードに入社し有機野菜の取扱を開始した。2002 年に千葉県山武農場（２ha)、2003 年には群馬県倉渕農場（10ha）を始め、2004 年から農場の全国展開を着手し、現在全国７か所に直営農場を開設、来年４月に大分農場（５ha）が開設予定である。

講演する武内社長

＜ワタミファームの概要＞

株式会社ワタミファームは、ワタミ（株）100%出資の子会社で、その直営農場が農業生産法人(有)ワタミファームである。

＜農場経営の特徴＞

① **作付計画：** **JAS 有機農産物**の生産が基本。農場では施設野菜と露地野菜を経営に組み合わせている。品目ごとの通年出荷を行うため全国の直営農場が連携し計画的なリレー栽培を行っている。なお作付前に８割以上は販売先を決めてから栽培に取り組んでいる。

② **運営管理：** ワタミグループに入社後２～３年経ち農場を希望した社員を農場長としている。給与は前職より下がり残業代もないが希望者は多い。各農場の社員は２名で、アルバイトを使って 10ha を管理している。社員は農業生産法人へ出向する形をとっている。

③ **販売：** 営業担当者を複数配置して常に営業活動をおこなっており、ワタミグループ以外では生協、量販店、宅配会社、卸業者などに販売している。

④ **物流：** 有機農産物の最大の問題は①宅配便中心で物流コストが異常に高い②宅急便は鮮度保持が難しく品質が悪くなることである。そこでワタミファームではトラック便で北海道から九州まで網羅し、農協並みのコストでの物流を実現している。

⑤ **オリジナルな技術開発：** 特殊製法で製造した低分子のアミノ酸、オリゴ糖からなる有機肥料を開発・製造し、葉面散布や施肥に利用している。また、育苗期の断根処理により太い根を発生させ、収量アップを実現している。

⑥ **有機農業啓発活動**：中学・高校生の農業体験修学旅行、中学校の農業クラブ指導（屋上緑化、月１回）、定期的な農場体験ツアー企画、農業塾、視察受け入れ、農業講演活動などを実施している。

＜農業経営で必要な能力とは＞

農業技術は経験を積めば身につくが、それより重要なことは**マネージメント能力**である。頭の中で人の使い方、仕事の段取りを組み立てられる人であること。

千葉県から新規就農に関する支援を頼まれているが、ほとんどの新規就農者は残念ながら自らの「事業計画」を作ることができない。ＰＬ（損益計算書）とＢＳ（貸借対照表）、減価償却費などの基礎知識を最低限身につけることが重要である。

＜企業参入時の留意点＞

企業は農業の素人であり農地の良否さえわからない。今までの経験からいうと行政が斡旋する農地は耕作放棄地が多く、しかも土壌物理性の悪い畑地が多く失敗しやすい。今後はどれだけ行政と良好な関係を築き、不良農地の土壌改良支援あるいは農作物に適した農地を借りることができるかが重要である。

２．「お客様の満足＝農業の近代産業化」（イオンアグリ創造（株）社長藤井滋生氏）

＜理念＞①プライベートブランド（安全、合理的価格、鮮度、おいしさ）を農地から責任を持って提供し、お客様満足を実現する②地域農業に参入し地域循環型社会の創生、活性化の実現に寄与する。

＜設立と経過＞本年７月 10 日に設立。特定法人貸付事業を活用して、茨城県牛久市内に自社農場を開設し、８月 20 日より牛久モデルの実証実験の作付を開始。40 年以上放置された耕作放棄地をリース契約（５年）で借りて 2.6ha のほ場整備を実施。現在、社員７名が露地畑 1.3ha でキャベツ、エダマメ、とうもろこしを作付けし、ハウス（24 棟）でコマツナ、水菜を栽培。農地は来年には 2.1ha 増反し、最終的には 15ha まで拡大する計画。

＜特徴＞①地域の人材活用②生鮮・加工販売ができるグループ企業（オリジン東秀、イーハートなど）との連携で下等級品活用と付加価値化③安全安心のルールとして、イオンの培った AQ システム（自社基準）をもとにＧＡＰ等の生産工程管理徹底。

＜販売＞ 牛久農場に近い柏店からの昼便を活用して南関東のパイロット店舗向けへのトラック物流、または取手店舗への帰り便を利用した茨城県店舗へのトラック物流。

＜実験４か月の経過＞ コスト削減の試算では約３割の生産経費削減が可能。４か月実施した結果、初期投資に要した井戸設置、土壌・水分分析、肥料（土壌改良）等の費用が大きく試算数値を達成できていない。しかし今後は農機のリース、肥料費減少などで達成は十分可能と見ている。

＜今後の全国展開＞ 全国を８ブロック化し、ブロック域内で流通させる。適地適作と行政の支援が前提。しかし保存のきくバレイショ、タマネギは北海道の農場で 100～200ha 規模で生産する。自社農場ブランドで得たノウハウを「トップバリュー・グリーンアイ」に波及させる予定。

＜市場流通との関係＞今行っている事業は良い意味で市場との競争でもある。今後、卸売市場は産地と手を組んで販売できる市場でないと生き残れない。特にコールドチェーンを整備して鮮度、美味しさを提供できる市場でないと厳しい。

景気不振の中で農業が見直される昨今ですが新規就農者をはるかに上回るペースで日本の農業は高齢化と担い手の減少が進み、それに伴い耕作放棄地は増加しています。

12 月 15 日には改正農地法が施行され、農地は所有から貸付（リース）への動きが加わり、企業の農業参入に向けた条件が整備されつつあります。

本県農業も例外ではなく、今後は農業を志す企業とどうかかわっていくかを真剣に考える時期にきていると思われます。

西 日 本 情 報

園芸農産課

「あいちのかんきつフェア」大盛況でした

愛知県産かんきつの消費拡大のため、「あいちのかんきつフェア」を平成２１年１２月７日(月)、金山総合駅連絡通路橋内イベント広場で開催しました。

人どおりの多い場所で開催したため、多くの人で賑わいました。国民の果物消費が低迷する中、「おいしい県産かんきつを食べてもらって、健康な生活をおくってもらおう」をキーワードに、鉢植えかんきつのもぎ取り体験、かんきつの機能性ＰＲ、かんきつに関するアンケート調査、かんきつの即売などを行い、県産かんきつの消費宣伝活動を行いました。

あいちのかんきつフェア（金山総合駅にて）

■関係団体等

【主催】愛知県果樹振興会

【共催】愛知県

【後援】社団法人愛知県園芸振興基金協会

■「みかん狩り」体験

午前11時30分から及び午後１時30分からの２回、各回先着20名に「みかん狩り」体験を行っていただきました。事前にみかんに関するクイズに答えていただき、正解数に応じて鉢植えみかんのもぎ取り体験をしていもらいました。さらに収穫後、みかんの重量当てゲームに参加もらい、ピタリ賞(もしくはニアピン賞)に輝いた方には、みかん山盛りをプレゼントし、大いに盛り上がりました。

鉢植えかんきつのもぎ取り体験

■かんきつに関するアンケート調査

１０１人に対してかんきつの消費や機能性などについてのアンケート調査を行い、同時に毎日くだもの200グラム運動や、かんきつが健康に良いことをアピールして消費拡大を促しました（回答者謝礼として、かんきつと毎日くだもの200グラム運動のパンフレットを手渡した）。

■県産かんきつのＰＲ・果物消費拡大関連

・有望中晩柑の展示　4 品種（せとか、麗紅、はるみ、はれひめ）
・クリアファイル（かんきつの機能性や新品種紹介）
・パンフレット「ミカンと健康」、「毎日くだもの 200 グラム運動」、「あいちの果物みつけた」、「デザートレシピ 2 種類」、「産地販売カ所チラシ」を配布
・パネル展示（かんきつの機能性成分等の紹介パネル展示）

かんきつの機能性などについてパネル展示

■蒲郡産、知多産かんきつの即売

午前 10 時 30 分から、午後２時から、及び午後５時からの３回、合計 600 袋の蒲郡産及び知多産のかんきつを即売しました。通常の温州みかんに加え、特別栽培により糖度を高めたこだわり商品「箱入娘」(蒲郡産)、「あまみっこ」(知多産)、更には有望な中晩柑「はれひめ」を用意し、各回とも１時間ほどで完売するほどの盛況ぶりでした。

蒲郡産、知多産かんきつの即売

【参　考】

●　「かんきつ」とは

温州みかんを始め、はっさく、ネーブルオレンジ、きんかん、グレープフルーツ、レモンなど、みかん属の総称。

●　愛知県果樹振興会とは

１１会員（県内の果樹関係団体）からなり、６部会（かんきつ、かき、なし、ぶどう、もも、いちじく）で研究会の開催等の果樹振興に係る事業を実施。

●　かんきつの機能性成分について

かんきつには、β-クリプトキサンチンというカロテノイド色素が多く含まれています。がんや糖尿病、動脈硬化、肝機能障害、骨粗しょう症の他、話題のメタボリックシンドロームの予防効果が高いとされる研究成果が相次いで報告されています。

園芸農産課

花の王国あいち推進事業について

愛知県は、愛知県花き温室園芸組合連合会、愛知県経済農業協同組合連合会と共催で一般県民に対して広く、花の生産日本一である愛知の花についての理解を深めるとともに、花に親しむ経験をしてもらうことを目的に、昨年度に引き続き「花の王国あいち推進事業」を実施しました。

(1)花に込めたメッセージ

あいちの花への興味や関心を持ってもらうために、花を贈るときに添えるメッセージを募集しました。

昨年度（８６０点）を上回る９７０点の応募があり、その中から選ばれた３０点の方に、ご応募いただいたメッセージとともに、愛知県の花をメッセージの相手へプレゼントしました。

嫁ぐ娘　父の日、誕生日　いつも忘れず花を添えたプレゼント　そんな君が嫁ぐ　悲しい、寂しい、嬉しい　複雑な思い　涙を堪え、花を贈りたい　いつでも、これからも、かわらず　ずーと幸せでいてほしい。

応募があったメッセージ

（２）あいちキッズ・フラワー・フェスタ２００９

花とふれあうことで、子供達の優しい心を育て、花に親しむ習慣づくりを推進する花育を目的として、平成２１年１１月７日から１８日まで、中部国際空港セントレアギャラリーで「あいちキッズ・フラワー・フェスタ２００９」を開催しました。

期間中の土曜日、日曜日には、子供達にあいちの花を見て、触って、飾って、学んでもうらために、フラワーアレンメント、花に関するクイズ、花を使った実験等を体験してもらいました。期間中に、色々なあいちの花やセントレアフラワー等の展示を行いました。

期間中に約６００名が参加し、笑顔にあふれた花に親しむイベントとなりました。

会場の様子

親子フラワーアレンジメント教室

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか　：±２%台以内
や　や　：±３～５%台
かなり　：±６～15%台
大　幅　：±１６%以上

○　名古屋市中央卸売市場（品目：小松菜）

	入　荷　量 （ｔ）	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な他産地 （上位３産地）
２１年実績	２６９	１４９ （７２%）	３５５	３２９	岐阜　（２５%） 茨城　（　１%）
２２年見通し	２２０	－	３３０	－	

入荷量及び卸売価格の概要と見通し	卸売市場から産地への要望・提言等
甚目寺、大治愛西市を始め海部地区中心に入荷。 愛知は、１１月の気温が高かったため生育は良く１週間程度の前進傾向で、１月中下旬には数量の減少が予想される。 愛知は作付面積減少により入荷量減少、岐阜のハウス栽培は前年並みの入荷量を見込む。価格は前年をかなり下回る見込み。	今年は雨が多かったことから湿害が発生し黄変や根傷みで棚もちが悪いものが出ているため、収穫当日の出荷をお願いしたい。 販売価格が数年来伸び悩んでいることから作付面積は減少し続けている。 栄養価の高さと、ほうれんそうに比べて値頃感があることから、給食や病院食、おひたし以外の新しい食べ方のＰＲが必要。

○　東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入　荷　量 （ｔ）	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な他産地 （上位３産地）
２１年実績	８９４	１６６ （１９%）	２１２	１８２	静岡　（５９%） 福岡　（１１%） 茨城　（　７%）
２２年見通し	９００	－	１８０	－	

入荷量及び卸売価格の概要と見通し	卸売市場から産地への要望・提言等
静岡が入荷の約６割を占め、愛知、福岡がそれに続く。静岡は近年、２月出荷から１月出荷にウエートを高めている。下旬には茨城の入荷が本格化する。 各産地とも生育は良好で、順調な入荷が見込まれている。ハウス栽培の出荷本番となり、品質についても良好となる見込み。 入荷量は前年並みで、価格も前年をかなり下回る見込み。	セルリーは小売では一本売りが定着しているが、販促時にはMやＳサイズの半株にすると引き合いが強い。 積極的な提案が望まれる。　愛知産の形状や品質には大きな問題はないが日により入荷量が安定しない。 適期収穫や温度管理による品質保持は勿論安定出荷に努めて欲しい。

名古屋・東京市場における青果物の１月の見通し

名古屋市中央卸売市場

１２月１５日 現在　　　　単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

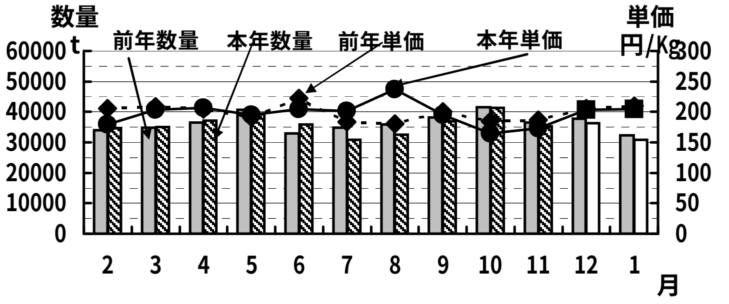
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
野菜計	１７年	３２，０８１	２０４	226	200	198	愛知 31%
	１８年	３１，１９４	２２９	276	218	212	北海道 23%
	１９年	３３，６６６	１９１	233	180	179	静岡 6%
	２０年	３２，３５６	１８６	218	172	181	長野 4%
	２１年	３２，２７０	２１０	231	200	204	
	５ヵ年平均	３２，３１３	２０４	―	―	―	
	２２年見通し	３０，９００	２０５	―	―	―	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

秋冬物の入荷が本格化。夏の天候不良、日照不足から土ものの生育は不作傾向。葉菜、果菜への台風の影響は一部品目に限られ、中下旬は厳しい販売環境が予想される。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



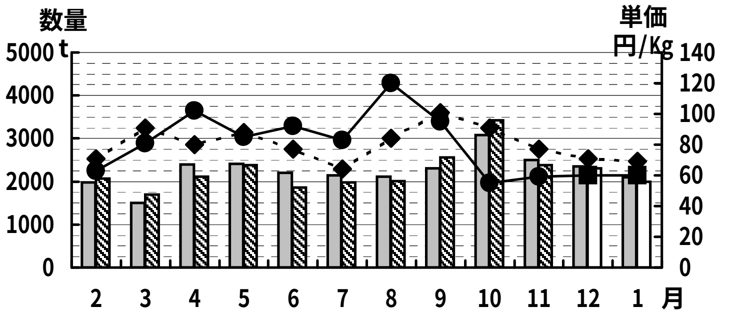
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
だいこん	１７年	２，１１８	７２	72	70	74	静岡 54%
	１８年	１，９１７	９８	104	96	96	徳島 22%
	１９年	２，０６６	４５	68	36	40	千葉 10%
	２０年	２，０３２	４７	58	41	46	愛知 9%
	２１年	２，１０３	６９	60	70	74	
	５ヵ年平均	２，０４７	６６	72	62	66	
	２２年見通し	２，０００	６０	60	60	60	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は静岡、徳島など。静岡は供給安定基金の導入で東京や地元への出荷が限定的になり、愛知に出荷が集中する。大きなものはでてこないが、豊作傾向で順調、反面単価は苦しい。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



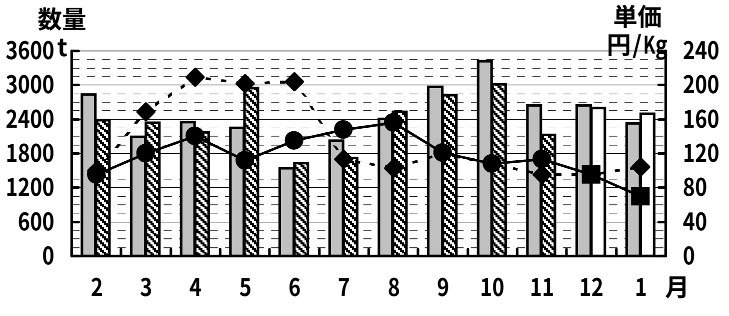
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
にんじん	１７年	２，２０５	１３６	132	133	141	愛知 78%
	１８年	２，４２２	１１４	134	113	106	鹿児島 9%
	１９年	２，８８７	５９	72	64	49	千葉 8%
	２０年	２，５３８	８２	101	87	72	熊本 3%
	２１年	２，３２５	１０４	108	106	101	
	５ヵ年平均	２，４７５	９７	108	98	91	
	２２年見通し	２，５００	７０	80	70	60	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は愛知中心で、作況は良好。鹿児島など西南産地からも順調な入荷が見込まれる。単価はあまり上がらない。

入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

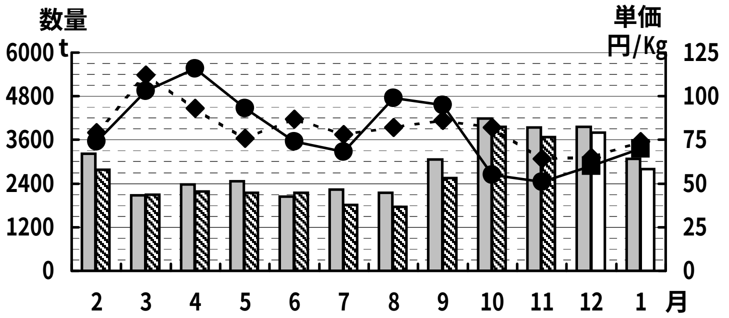
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
はくさい	１７年	２，６８４	７７	91	70	75	愛知 59%
	１８年	２，８４６	７１	77	66	71	茨城 18%
	１９年	２，９３８	５２	67	46	47	長野 10%
	２０年	２，８６７	５６	63	48	60	
	２１年	３，０７３	７４	74	69	78	
	５ヵ年平均	２，８８１	６６	74	60	66	
	２２年見通し	２，８００	７０	70	70	70	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は愛知、茨城、兵庫など。愛知と茨城は前進出荷傾向で、年明けは作付面積減少で前半より数量減少。兵庫は後半から増加。暖冬傾向で需要伸びず、流通在庫多いため販売環境苦しい。

入荷量は前年をかなり下回り、価格はやや下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



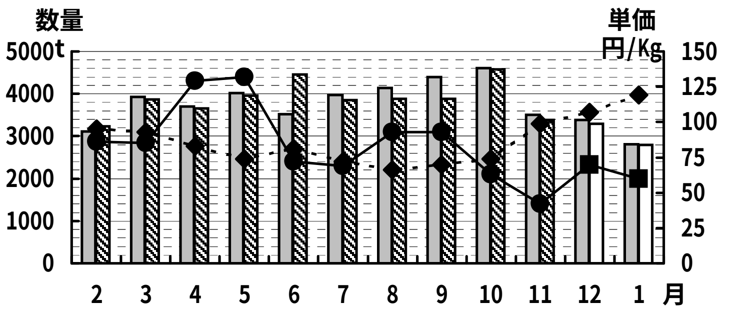
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
キャベツ	１７年	２，５４６	１２６	115	123	135	愛知 97%
	１８年	２，５９５	１４２	183	137	127	茨城 1%
	１９年	３，１４２	４５	50	44	44	鹿児島 1%
	２０年	３，１００	６４	72	55	66	兵庫 0%
	２１年	２，８０５	１１９	117	120	118	
	５ヵ年平均	２，８３７	９６	104	93	95	
	２２年見通し	２，８００	６０	60	60	60	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は愛知中心。台風１８号の被害は、その後の好天による前進傾向で１月中は影響が出ない見込みで、順調な出荷が見込まれる。

入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



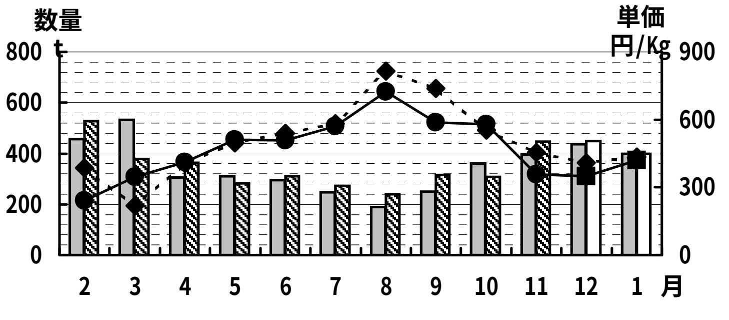
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ほうれんそう	１７年	４９２	４０３	369	393	426	愛知 84%
	１８年	４５８	４９１	692	468	426	群馬 5%
	１９年	４３２	３７８	431	363	366	徳島 5%
	２０年	５０６	２５７	233	208	324	
	２１年	３９９	４３４	449	443	418	
	５ヵ年平均	４５７	３８９	429	370	391	
	２２年見通し	４００	４２０	450	400	400	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は愛知中心で、他に群馬、徳島。愛知は平年に比べ、12月に入って雨が多く、湿害が出ている。根傷み、黄変がみられ数量減っている。

入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



名古屋市中央卸売市場

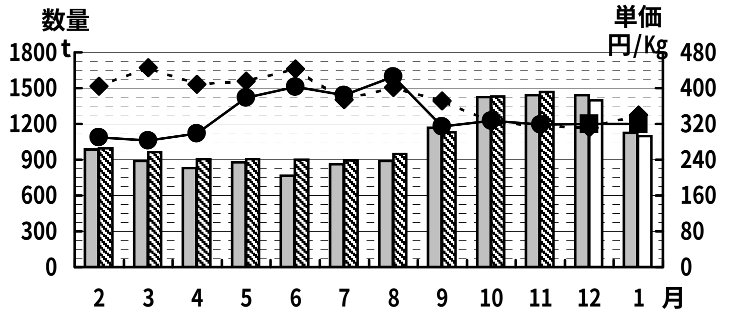
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ねぎ	１７年	１，０１４	２９１	353	266	283	愛知 27%
	１８年	９９６	３４７	442	308	318	静岡 19%
	１９年	１，０３３	２７７	368	271	236	群馬 13%
	２０年	１，０３７	３３７	426	300	322	大分 13%
	２１年	１，１２６	３４０	390	329	314	
	５ヵ年平均	１，０４１	３１９	396	295	295	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，１００	３２０	400	300	300	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は、愛知の長ねぎ、静岡、群馬、大分の白ねぎ。各産地とも順調な入荷。上旬は正月休みを挟み前月末の出荷になるため、入荷量減る日もあるが中旬以後は量、価格とも安定する見込み。

入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。

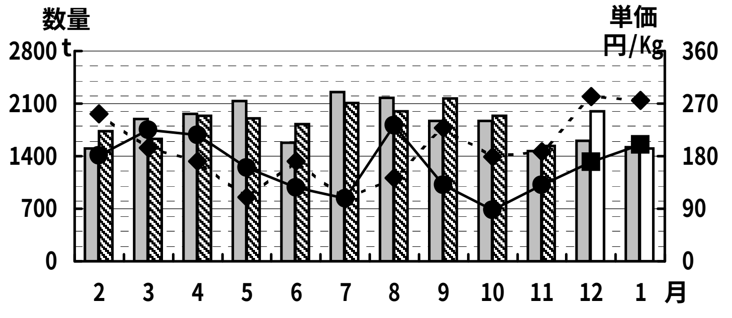


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
レタス	１７年	１，５２３	２０２	217	196	199	兵庫 44%
	１８年	１，２８３	３３９	453	317	297	愛知 20%
	１９年	１，７３３	２１８	231	207	219	静岡 15%
	２０年	１，７８２	１５７	158	143	170	熊本 10%
	２１年	１，５１６	２７６	308	256	268	
	５ヵ年平均	１，５６７	２３２	263	218	226	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，５００	２００	210	200	190	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は兵庫中心で他に愛知、静岡など。年内出荷分は雨による湿害多い。生育遅れで１月に出荷が重なるため、厳しい販売になることが見込まれる。

入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。

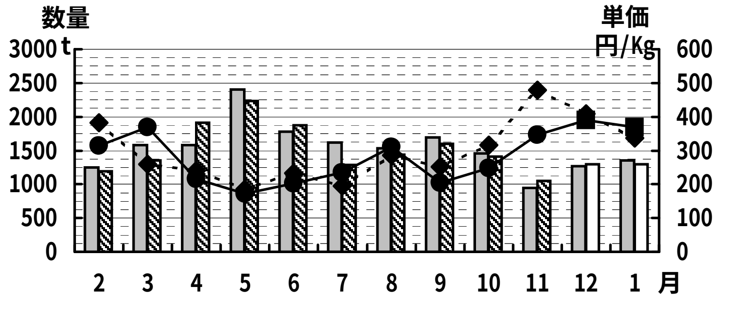


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
きゅうり	１７年	１，４８５	３００	267	281	348	愛知 43%
	１８年	１，２１０	４４３	348	414	579	宮崎 24%
	１９年	２，３１６	２２１	166	233	276	高知 19%
	２０年	１，２４５	４５２	393	392	575	鹿児島 14%
	２１年	１，３５６	３３７	319	312	379	
	５ヵ年平均	１，５２３	３３０	279	311	405	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，３００	３７０	360	370	380	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は地元愛知と鹿児島、宮崎、高知。厳寒期を迎え、重油の焚きかたが難しい時期になり、気温が冷え込むと数量はへる。価格は前半安く、後半高値となる見込み。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

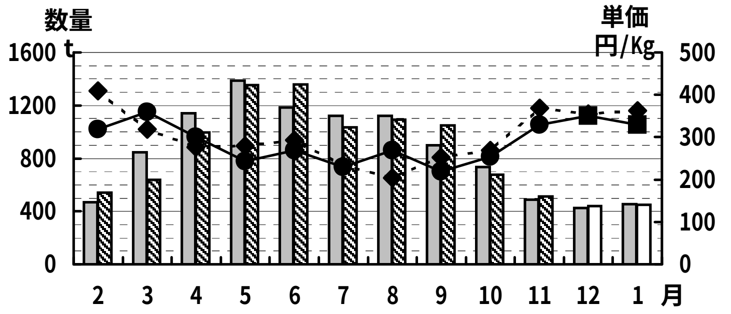
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
なす	１７年	５４５	３１４	238	312	380	愛知	52%
	１８年	５６５	３１７	299	293	366	熊本	44%
	１９年	５０６	３３９	272	347	399	鹿児島	2%
	２０年	４８５	３１７	281	294	388	高知	2%
	２１年	４５３	３６２	316	360	412		
	５ヵ年平均	５１１	３２９	280	320	388		
	２２年見通し	４５０	３３０	300	320	350		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

愛知の千両なす、熊本の長なす。愛知は一部に台風の影響残り、台風後定植分の出荷が始まる。他産地は天候よく順調だが、寒さで消費は鈍い。

入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



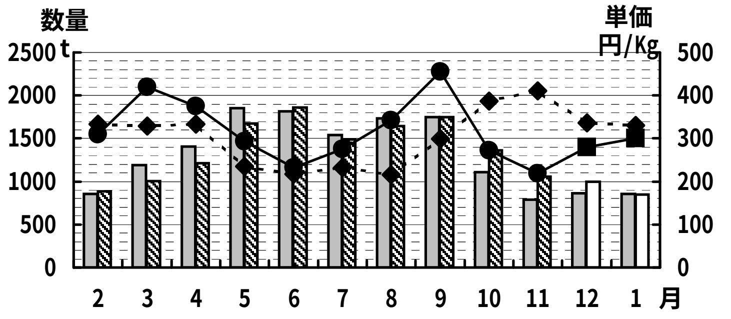
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
トマト	１７年	８５７	３６９	412	367	346	熊本	37%
	１８年	９５４	２７７	308	263	266	愛知	33%
	１９年	９７２	２７４	201	283	332	三重	20%
	２０年	９１８	２７７	249	272	306	岐阜	8%
	２１年	８５９	３３１	329	334	329		
	５ヵ年平均	９１２	３０４	297	302	315		
	２２年見通し	８５０	３００	300	300	300		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は熊本、愛知、三重など。各産地ともに出荷は前進気味で、台風の影響で１月の入荷は減少するか。後半からは新たな産地も出てくる。

入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



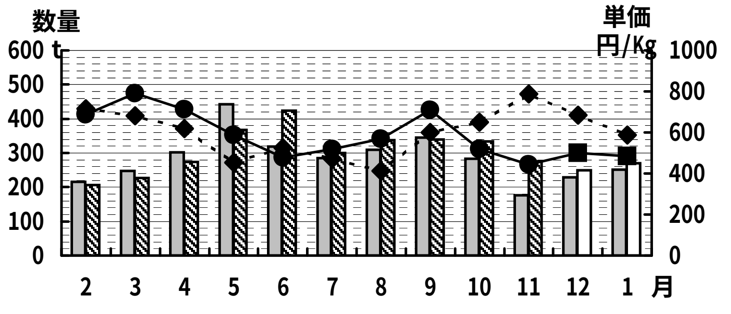
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
ミニトマト	１７年	２２４	６４６	716	616	620	熊本	51%
	１８年	２７４	５１７	517	456	580	愛知	38%
	１９年	２６０	５５２	451	555	659	和歌山	9%
	２０年	２８６	４７１	445	459	505		
	２１年	２５０	５８７	570	548	643		
	５ヵ年平均	２５９	５５０	533	522	598		
	２２年見通し	２７０	４８５	465	485	515		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は熊本、愛知中心。作柄は良く、上旬は熊本中心に抑制ものの出荷ピークに。出荷前進傾向で中下旬にかけ数量減る見込み。

入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



名古屋市中央卸売市場

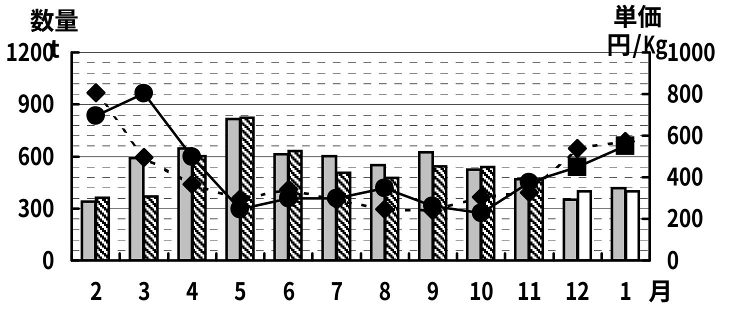
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
ピーマン	１７年	４９７	４４４	288	454	545	鹿児島	48%
	１８年	４４７	５２３	368	526	703	宮崎	37%
	１９年	４０７	６４６	487	711	784	高知	14%
	２０年	３９２	４８８	376	494	594	0	0%
	２１年	４１６	５７３	475	586	673	（愛知産比率	0%）
	５ヵ年平均	４３２	５３１	394	550	656	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	２２年見通し	４００	５５０	480	550	620		

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は鹿児島、宮崎、高知など。作付面積は平年並み。昨年は天候不順で入荷量少なかったが、今年は平年並みの作況が見込まれる。

入荷量、価格とも前年をやや下回る見込み。

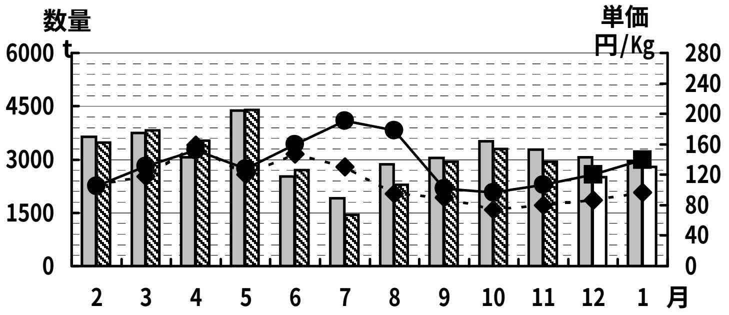


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
ばれいしょ	１７年	３，０４１	１０６	104	107	106	北海道	68%
	１８年	３，１４７	１１７	114	121	115	長崎	26%
	１９年	３，２３９	１０７	112	106	107		
	２０年	２，８４３	９０	91	87	92		
	２１年	２，９６４	９７	97	100	94	（愛知産比率	0%）
	５ヵ年平均	３，０４７	１０４	104	105	103	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	２２年見通し	２，８００	１４０	140	140	140		

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は北海道の残量と、長崎、鹿児島の抑制もの。北海道は収穫時の天候悪く、小玉傾向で例年より１～1.5割ほど少ない数量。長崎、鹿児島とも生育は順調。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

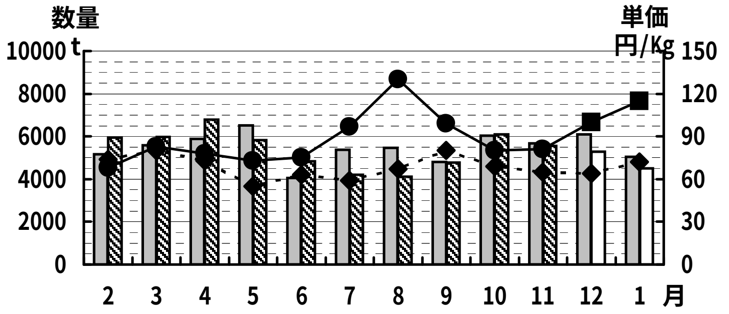


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
たまねぎ	１７年	４，７４８	８９	83	95	87	北海道	97%
	１８年	４，４１７	８８	85	98	81	静岡	1%
	１９年	４，８１１	８５	87	92	79	中国	1%
	２０年	４，４８４	７２	76	70	73	兵庫	1%
	２１年	５，０４０	７２	68	72	75		
	５ヵ年平均	４，７００	８１	80	85	79	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	２２年見通し	４，５００	１１５	115	115	115		

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

産地は北海道中心。作柄は不良で小玉傾向。残量少なく、高値推移の見通し。これだけ高値が続けば今後、輸入物が顔を出してくるか。

入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



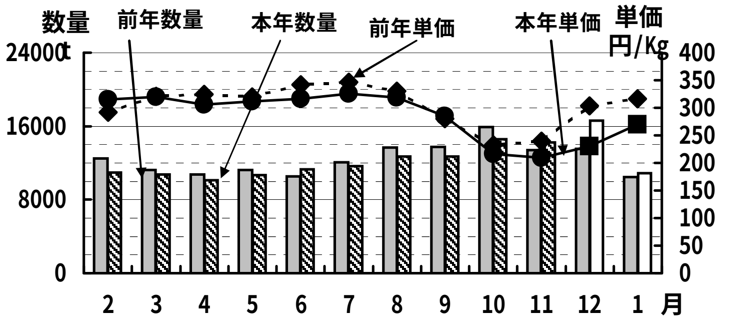
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
果実計	１７年	１３，５３８	３０３	356	308	277	静岡 19%
	１８年	１１，１８１	２９５	365	271	276	フィリピン 18%
	１９年	１０，５４１	３６６	398	354	358	青森 14%
	２０年	１０，７７６	２７７	320	262	263	愛知 13%
	２１年	１０，４８６	３１６	357	299	300	
	５ヵ年平均	１１，３０４	３１１	―	―	―	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１０，９００	２７０	―	―	―	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

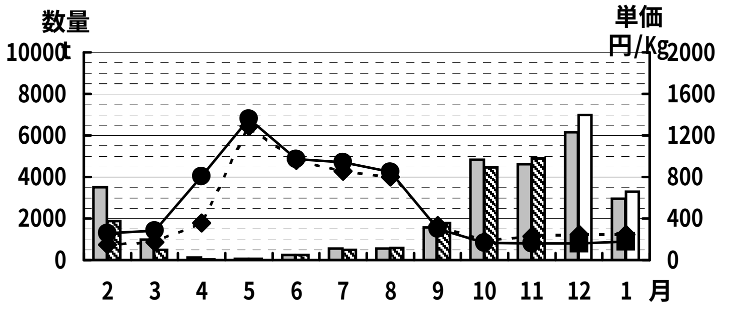
　みかん、りんご、いちごを中心に入荷。各品目とも入荷量は潤沢だが、景気を反映し消費は鈍く、高単価の商品の販売環境は厳しい状況が続く。
　入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
みかん	１７年	３，３８２	２２３	224	227	217	静岡 64%
	１８年	２，９９０	１７１	181	170	162	愛知 20%
	１９年	２，８４２	３０４	299	311	298	和歌山 13%
	２０年	３，５６３	１２３	141	109	123	熊本 1%
	２１年	２，９５３	２４９	258	244	245	
	５ヵ年平均	３，１４６	２１０	217	208	205	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	３，３００	１８０	180	180	180	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

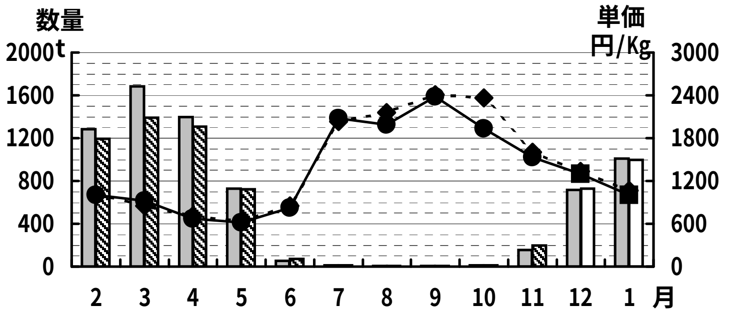
　静岡を中心に、愛知、和歌山等から入荷。表年で作柄は良好、静岡の青島など普通温州主体。Ｌ玉中心。
　入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
いちご	１７年	１，２０３	１，１５９	1,241	1,162	1,103	愛知 61%
	１８年	９４３	１，２８６	1,469	1,140	1,230	熊本 18%
	１９年	９７６	１，２４３	1,304	1,176	1,244	鹿児島 7%
	２０年	８８８	１，１７９	1,274	1,086	1,164	三重 7%
	２１年	１，０１０	１，０６４	1,163	910	1,092	
	５ヵ年平均	１，００４	１，１８４	1,286	1,096	1,163	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，０００	１，０００	1,100	900	1,000	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

　地元愛知を中心に、熊本、鹿児島等から入荷。生育は好天により順調。２番果が出るため、１月中は入荷量はある。台風の影響はほとんどないが、小玉傾向。
　入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。



東京都中央卸売市場

１２月２１日 現在　　　　単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

野菜計

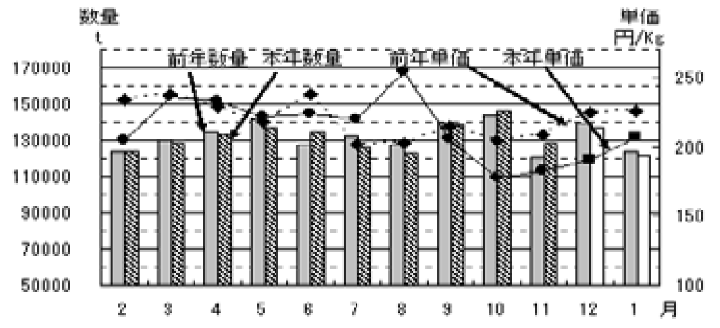
区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
１７年	１１５，１７３	２２７	241	224	222	千葉 19%
１８年	１１２，８１８	２５８	310	242	240	茨城 15%
１９年	１２１，４１６	２０９	244	197	198	北海道 13%
２０年	１２３，０８２	２０３	225	187	203	愛知 8%
２１年	１２４，０１７	２２６	242	215	222	（愛知産比率 8%）
５ヵ年平均	１１９，３０１	２２５	－	－	－	
２２年見通し	１２１，５００	２０７	－	－	－	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。重量野菜は豊作傾向、果菜類は回復傾向で前年並み、土物は北海道の不作の影響で入荷量は少ない見込み。

入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



だいこん

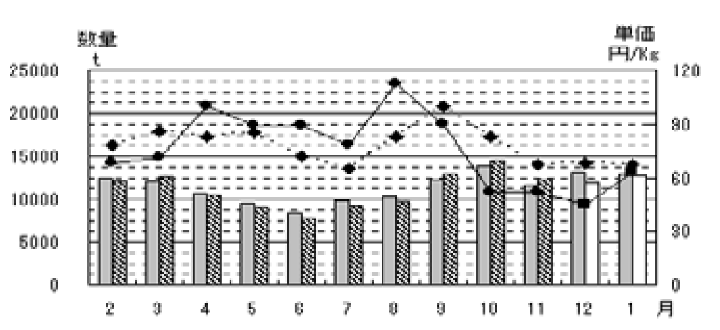
区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
１７年	１１，８４７	７１	64	73	73	神奈川 57%
１８年	１１，５２１	１０７	111	105	106	千葉 35%
１９年	１２，１５０	５３	71	46	48	徳島 4%
２０年	１２，９５８	５３	59	50	51	静岡 3%
２１年	１２，９０８	６７	57	67	76	（愛知産比率 0%）
５ヵ年平均	１２，２７７	７０	72	68	70	
２２年見通し	１２，８００	６３	60	62	65	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

関東産地からの入荷が中心となる。神奈川は前進出荷であったがＬサイズ中心で小ぶりになっている。千葉の生育は順調で肥大良好。徳島は平年並みであるが台風の影響で秀品率が低い。

入荷量は多かった前年並みであり、価格は前年をやや下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



にんじん

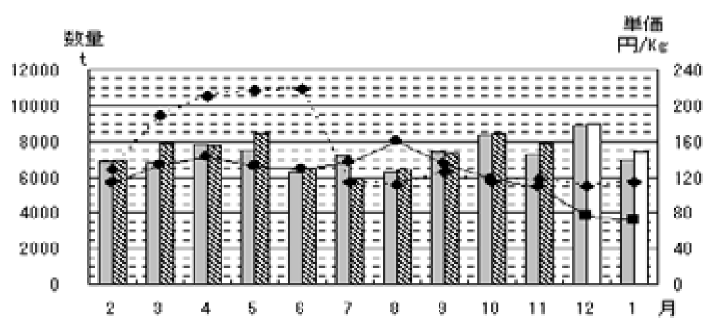
区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
１７年	６，７００	１４１	142	145	137	千葉 77%
１８年	６，３０１	１３０	148	129	123	埼玉 11%
１９年	７，７１４	６４	73	66	58	茨城 7%
２０年	７，３３２	９６	100	95	95	北海道 1%
２１年	７，０００	１１４	119	115	111	（愛知産比率 0%）
５ヵ年平均	７，００９	１０７	115	108	103	
２２年見通し	７，４００	７２	75	70	70	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉の生育と肥大は順調であり、入荷は平年を上回る見込み。埼玉、茨城の生育も順調で前年を上回る予想。

入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



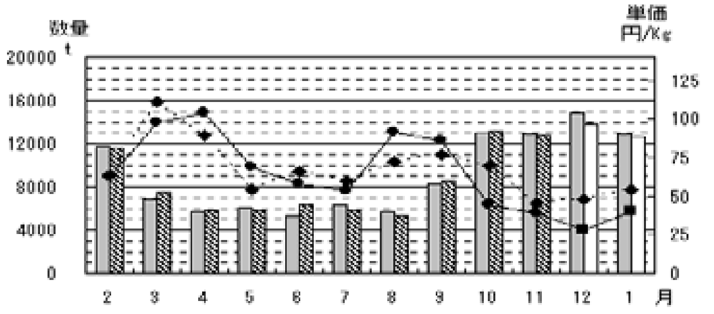
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
はくさい	１７年	１２，４０２	５７	64	57	52	茨城	85%
	１８年	１３，３４３	６０	62	59	58	群馬	10%
	１９年	１２，６７４	２７	37	25	23	兵庫	2%
	２０年	１２，５３５	３８	40	34	39	埼玉	1%
	２１年	１２，８８９	５４	53	52	58	(愛知産比率	1%)
	５ヵ年平均	１２，７６９	４７	51	46	46	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**	
	２２年見通し	１２，６００	４０	40	40	40		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

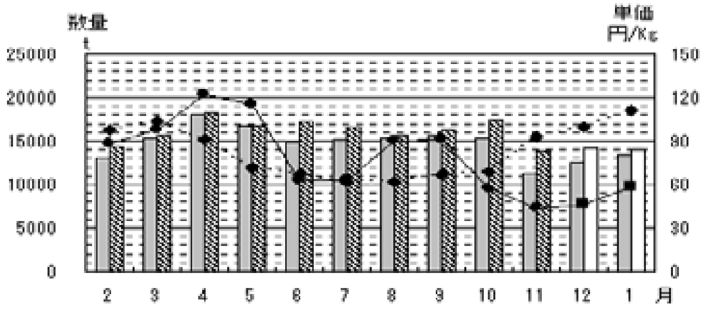
前月に続き茨城からの入荷が中心で、群馬からの入荷も増えてくる。茨城の生育は順調で平年並みの予想。群馬の生育も良好で順調な入荷が見込まれる。
全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
キャベツ	１７年	１０，８２２	１３０	106	133	141	愛知	55%
	１８年	１１，８２３	１４２	180	137	124	千葉	28%
	１９年	１３，０８６	５２	51	52	52	神奈川	12%
	２０年	１３，３７２	６４	66	58	68	茨城	3%
	２１年	１３，３１４	１１１	103	116	112	(愛知産比率	55%
	５ヵ年平均	１２，４８３	９８	99	97	97	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**	
	２２年見通し	１４，０００	５８	50	55	70		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

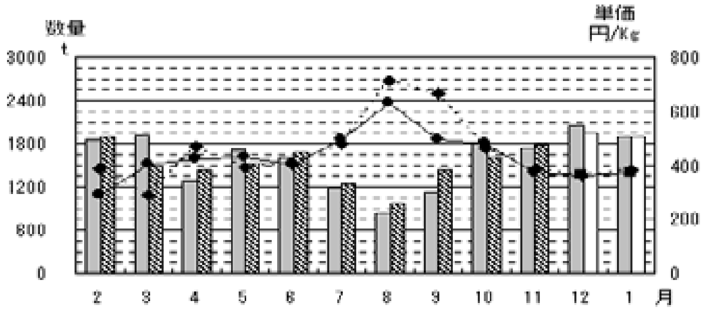
愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は順調でやや大玉傾向。下旬から台風の影響で入荷量は減少する見込み。千葉の生育も良好で、多かった前年並みの入荷が見込まれる。神奈川の生育も順調である。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）	
ほうれんそう	１７年	１，６７５	４７４	576	482	425	群馬	28%
	１８年	１，７６４	５５３	743	528	437	埼玉	27%
	１９年	１，９７９	３８４	428	395	347	千葉	19%
	２０年	１，９３２	３３８	383	292	352	茨城	19%
	２１年	１，９０５	３８４	391	382	380	(愛知産比率	0%)
	５ヵ年平均	１，８５１	４２３	498	412	386	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**	
	２２年見通し	１，９００	３７０	410	370	340		

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

関東産地からの入荷でほぼ全量が占められる。群馬、埼玉の生育は寒波の影響もなく順調で前年並み。千葉、茨城の生育も順調である。
入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。



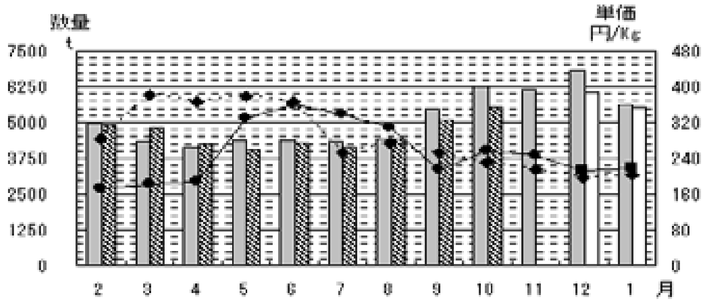
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ねぎ	１７年	５，１２２	２４２	324	244	198	千葉 36%
	１８年	４，６４２	２７５	358	252	244	埼玉 26%
	１９年	５，４９８	１７６	253	157	149	茨城 13%
	２０年	５，３６７	２２９	275	210	218	群馬 11%
	２１年	５，６２８	２０３	242	188	186	(愛知産比率 0%)
	５ヵ年平均	５，２５１	２２３	288	208	197	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**
	２２年見通し	５，５００	２２０	210	220	230	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

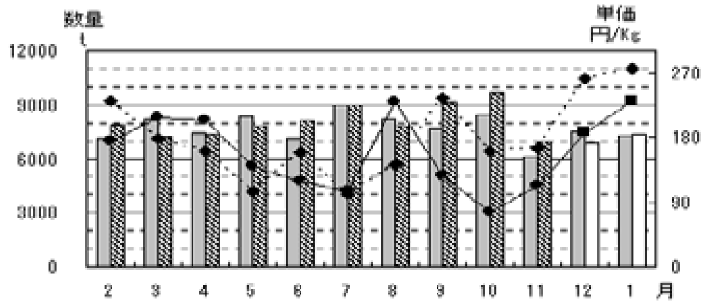
千葉を始めとする関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は概ね順調であるが一部で病害の発生がみられる。埼玉、群馬の生育も概ね順調である。
入荷量は豊作だった前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
レタス	１７年	７，１６３	２０９	228	206	202	静岡 35%
	１８年	６，２１８	３６０	513	328	285	茨城 16%
	１９年	７，８６６	２１０	223	200	207	兵庫 10%
	２０年	８，４７５	１４７	153	130	158	香川 11%
	２１年	７，２５０	２７４	299	258	266	(愛知産比率 4%)
	５ヵ年平均	７，３９４	２３３	272	218	219	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**
	２２年見通し	７，３５０	２３０	230	230	230	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

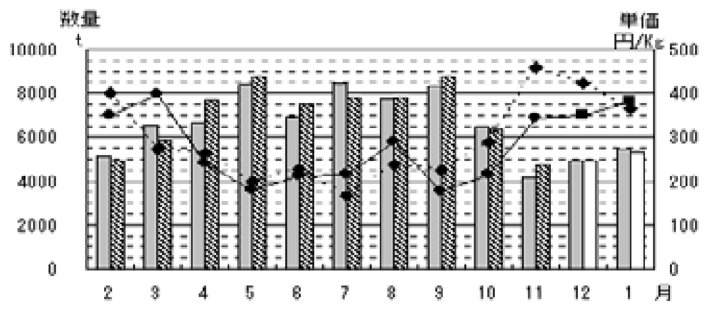
静岡、香川中心。静岡の生育は回復しており、１月は大玉傾向。香川は寒波の影響でやや小玉、回復は中旬以降になる予想。兵庫は降雨による根傷み、病害が多く入荷量は減少見込み。千葉の生育は概ね順調。
入荷量は不作であった前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
きゅうり	１７年	５，１９７	３１５	257	308	370	宮崎 35%
	１８年	４，６１６	４８５	378	469	605	千葉 22%
	１９年	４，６９９	４９９	563	483	461	高知 20%
	２０年	４，６１２	４６６	418	417	557	茨城 9%
	２１年	５，４５５	３６５	345	347	402	(愛知産比率 0%)
	５ヵ年平均	４，９１６	４２２	388	401	474	**前年及び本年の入荷量・価格の動き**
	２２年見通し	５，３００	３８０	400	350	380	

産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し

西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。宮崎の生育は11月の天候不順で草勢が弱く平年を下回る予想。千葉の生育は寒波の影響でやや遅れが見られる。高知の生育は概ね順調。
入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。



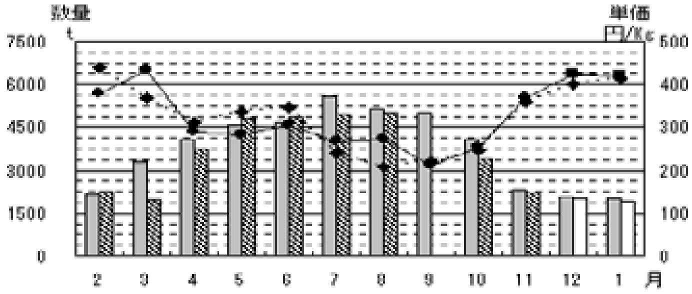
東京都中央卸売市場　　※「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
なす	１７年	２，３４４	３６９	261	384	448	高知 60%
	１８年	２，４９６	３６１	291	369	422	福岡 23%
	１９年	２，１４０	３８４	306	393	456	熊本 19%
	２０年	２，１５３	３７２	322	332	467	佐賀 5%
	２１年	１，９９６	４１５	367	414	467	（愛知産比率 0%）
	５ヵ年平均	２，２２６	３７９	307	378	451	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，９００	４２０	420	400	450	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

西南暖地からの入荷が中心となる。高知は作付面積の減少と寒波の影響もあり中旬まで少ない予想。福岡は今までの着果不良から回復したが、逆に強勢過多とかん水不足により奇形果が多く秀品率の低下傾向がある。入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。

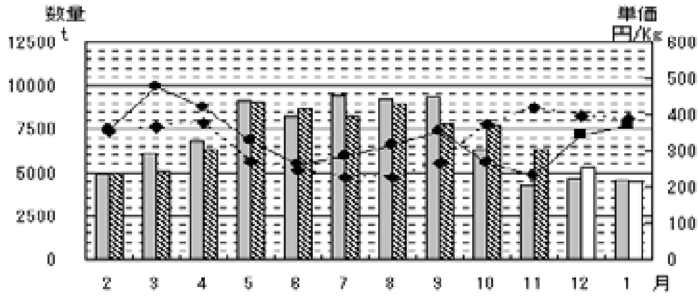


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
トマト	１７年	４，５６９	４０４	441	403	382	熊本 42%
	１８年	５，１５６	２９６	334	283	275	愛知 18%
	１９年	５，４２３	２７７	215	288	332	栃木 9%
	２０年	５，１０９	２９８	260	305	332	静岡 7%
	２１年	４，５７９	３８８	397	385	381	（愛知産比率 18%）
	５ヵ年平均	４，９６７	３２９	324	329	338	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	４，５００	３７０	320	370	420	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本は概ね順調。着果不良の果房もあり、出荷ピークがない予想。愛知は作型の切り替え時期となり、出荷量は減少する。栃木は概ね順調でやや小玉傾向。

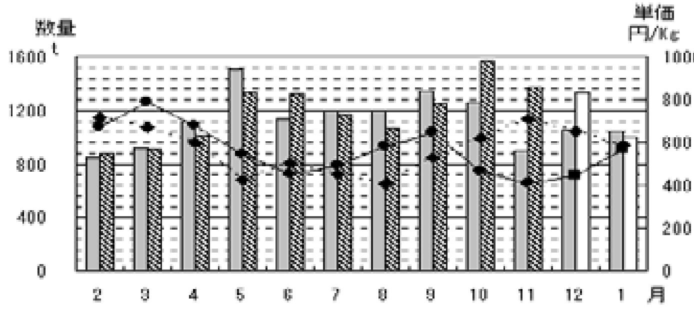
全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ミニトマト	１７年	８９１	６６９	720	636	661	熊本 29%
	１８年	１，０２３	５１９	519	472	569	愛知 27%
	１９年	１，０２６	５２２	428	506	646	宮崎 14%
	２０年	１，０５８	４９１	473	470	529	千葉 10%
	２１年	１，０４１	５８６	574	550	634	（愛知産比率 27%）
	５ヵ年平均	１，００８	５５４	538	524	606	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１，０００	５７０	540	550	620	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本は着果良好であり、コンスタントな入荷が見込まれる。愛知は前進傾向であった出荷量が落ち着き、減少する見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格はわずかに下回る見込み。



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

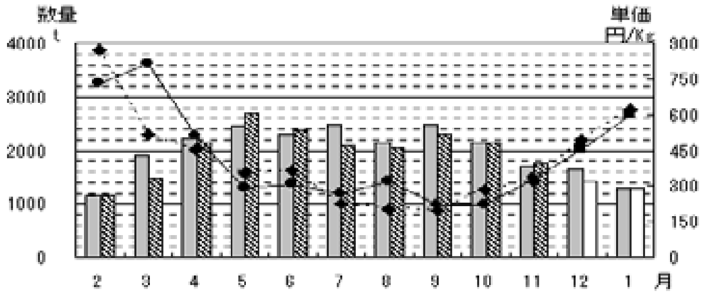
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ピーマン	１７年	１，４３０	４８５	326	498	573	宮崎 44%
	１８年	１，３３３	５６７	415	558	712	茨城 20%
	１９年	１，３１０	７０２	557	726	832	高知 18%
	２０年	１，２５０	５９７	425	538	838	鹿児島 16%
	２１年	１，２９１	６２４	505	637	725	（愛知産比率 0%）
	５ヵ年平均	１，３２３	５９３	443	590	732	
	２２年見通し	１，３００	６００	550	580	700	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

西南暖地からの入荷が中心となる。宮崎、高知は昨年より草勢が良好。12月上旬の天候不順の影響で上旬は少なく中旬以降増加する予想。茨城は概ね順調で着果良好。

入荷量は前年並みで、価格は高前年をやや下回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



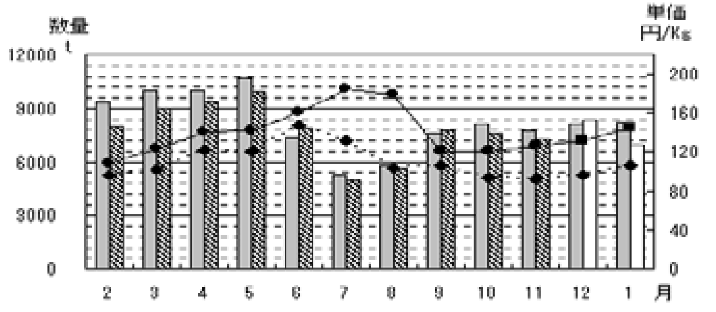
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
ばれいしょ	１７年	７，３５６	１１０	108	110	111	北海道 75%
	１８年	６，６９５	１２１	118	122	121	長崎 20%
	１９年	７，１７６	１１８	120	119	117	鹿児島 5%
	２０年	８，２１４	９３	99	94	91	
	２１年	８，２０７	１０６	106	107	106	（愛知産比率 0%）
	５ヵ年平均	７，５３０	１０９	110	110	108	
	２２年見通し	７，０００	１４５	140	140	170	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

北海道からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵物となったが生育期の天候不順で小玉傾向。年明けの出荷数量は減少する見通し。長崎の生育は回復し、平年並みの予想。

入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年を大幅に上回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き

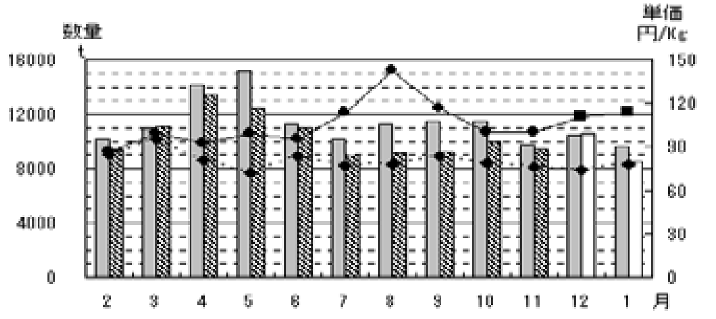


品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
たまねぎ	１７年	８，６６１	１０４	90	105	109	北海道 96%
	１８年	８，１９５	１０３	102	102	103	静岡 1%
	１９年	８，５２４	９６	90	96	99	中国 1%
	２０年	８，２０３	８１	79	80	82	
	２１年	９，５９６	７８	77	76	80	（愛知産比率 0%）
	５ヵ年平均	８，６３６	９２	87	91	94	
	２２年見通し	８，５００	１１３	110	115	115	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道の貯蔵物は不作で入庫量が少なく小玉傾向。１月入荷量も過去５年で最も少なくなる見込み。静岡の葉つきタマネギは平年並であるが寒波の影響でやや遅れている。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

前年及び本年の入荷量・価格の動き



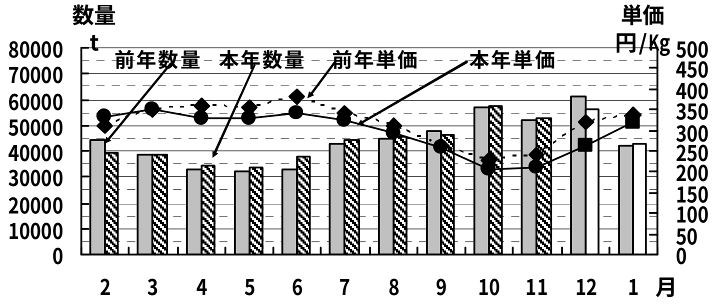
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円／kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
果実計	１７年	４４，２４７	３３９	368	331	331	愛媛 18%
	１８年	４３，２１２	３１５	390	290	296	静岡 15%
	１９年	３７，９５８	４０５	476	374	400	青森 14%
	２０年	４０，６３６	３１６	409	300	281	フィリピン 10%
	２１年	４２，１５６	３３９	382	320	323	(愛知産比率 0%)
	５ヵ年平均	４１，６４２	３４２	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	４３，０００	３２０	—	—	—	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

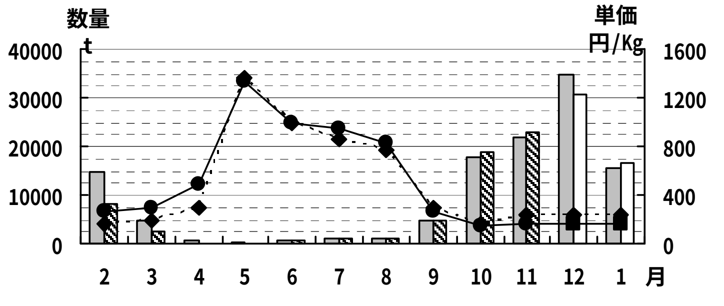
みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。中旬以降は「不知火」などの中晩柑がこれに加わる。りんごは順調に入荷する見込みである。
全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
みかん	１７年	１６，７５３	２２５	216	226	230	静岡 37%
	１８年	１７，７４７	１７６	185	175	171	愛媛 20%
	１９年	１３，８８３	３０５	295	312	301	長崎 12%
	２０年	１７，４１８	１５０	168	144	146	和歌山 12%
	２１年	１５，６４１	２３５	235	232	239	(愛知産比率 0%)
	５ヵ年平均	１６，２８８	２１４	216	213	213	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	１６，５００	１７０	170	170	170	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

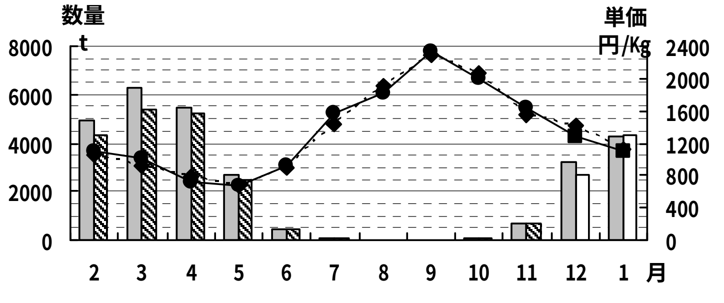
12月中旬から「普通みかん」主力となり、静岡、愛媛、長崎、和歌山などから入荷する。今年は表年であるが、秋期の気温高と降雨で傷みが懸念される。静岡は小玉傾向で食味良好。
入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる



品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	上旬	中旬	下旬	前年主要産地（%）（愛知産比率）
いちご	１７年	４，３５６	１，１９５	1,249	1,199	1,158	栃木 40%
	１８年	４，１８０	１，２４６	1,421	1,154	1,175	福岡 17%
	１９年	４，１８４	１，２７４	1,271	1,201	1,263	茨城 13%
	２０年	４，１２６	１，１８９	1,284	1,093	1,175	佐賀 11%
	２１年	４，２８０	１，１２７	1,189	1,041	1,163	(愛知産比率 3%)
	５ヵ年平均	４，２２５	１，２０６	1,282	1,138	1,186	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	２２年見通し	４，３００	１，１００	1,100	1,100	1,100	

産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し

栃木中心に、福岡、茨城、佐賀から入荷する。栃木の生育は11月の天候不順からやや遅れ気味だが、大きな谷間無く入荷する見込み。福岡も同様に生育遅れ気味である。茨城の生育は概ね順調である。
入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。

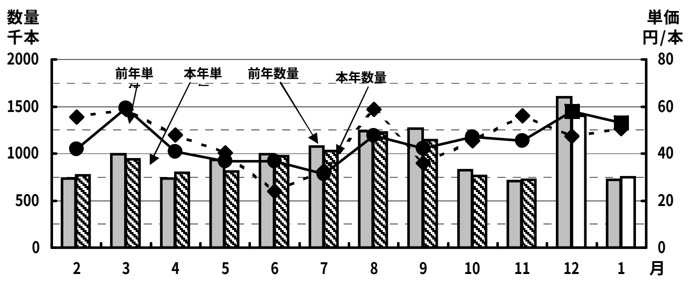


切　花　・　鉢　花　の　１　月　の　見　通　し

切　花（地方卸売市場ヤマヱ生花市場　　１２月２５日現在）　　　　単位：千本、円／本

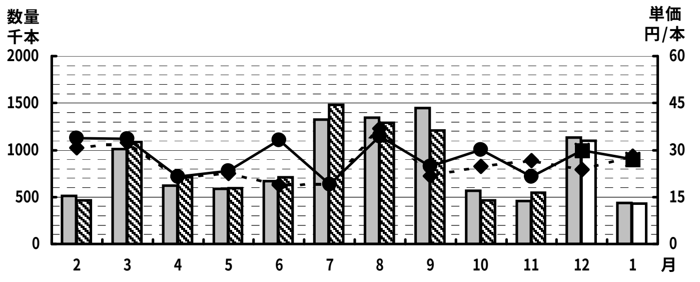
品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格
輪ぎく	実績 １７年	７６２	５８
	実績 １８年	７５０	４９
	実績 １９年	７９７	５３
	実績 ２０年	７８８	４８
	実績 ２１年	７２４	５１
	５ヶ年平均	７６４	５２
	２１年見通し	７５０	５３

前年及び本年の入荷量・価格の動き



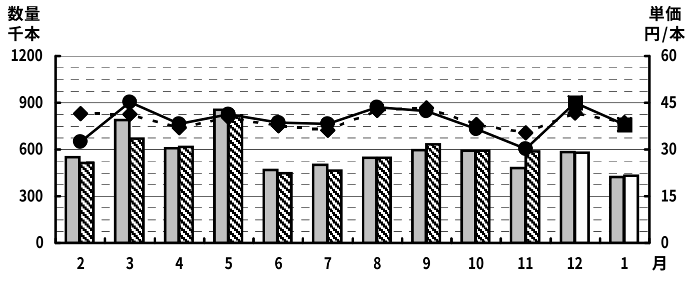
概要　愛知、沖縄、大分等から入荷。愛知は台風の影響で少なめの入荷、沖縄は台風被害もなく順調な入荷が予想される。
価格は、業務需要の推移にもよるが、全体的には強めの動きとなろう。

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格
小ぎく	実績 １７年	４４３	２６
	実績 １８年	４５９	２５
	実績 １９年	４０９	３４
	実績 ２０年	３７８	２７
	実績 ２１年	４４０	２８
	５ヶ年平均	４２６	２８
	２１年見通し	４３０	２７



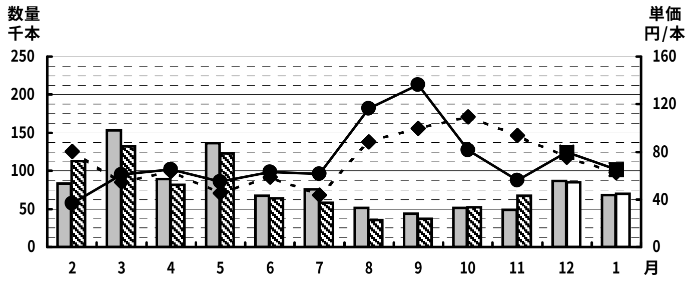
概要　沖縄を中心に、愛知、静岡から入荷。主力の沖縄は台風の被害もなく生育は順調だが、１月出荷分は若干作付が減少しているため、やや少なめの入荷が予想される。価格は、前半やや弱めの動きで、後半は堅調な動きとなろう。

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格
カーネーション	実績 １７年	４５３	４０
	実績 １８年	４７１	４２
	実績 １９年	４５９	３８
	実績 ２０年	４１４	３３
	実績 ２１年	４２５	３９
	５ヶ年平均	４４４	３９
	２１年見通し	４３０	３８



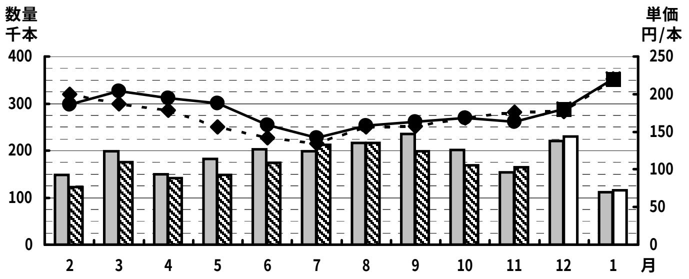
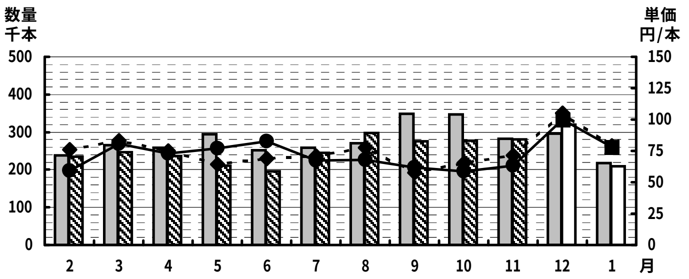
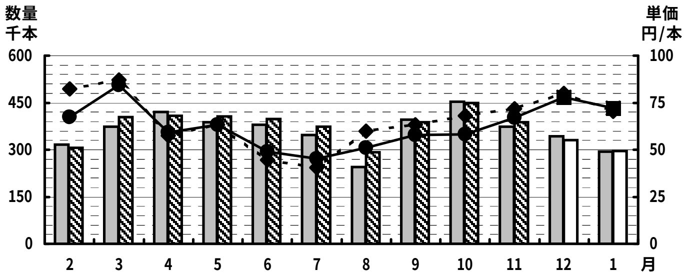
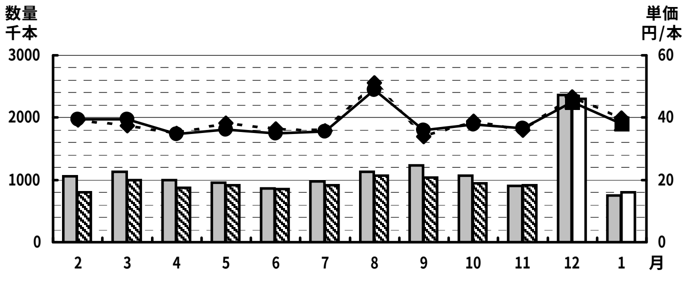
概要　愛知を中心に和歌山、長野等から入荷。全体的に生育は順調に推移し、前年並みの入荷量が予想される。価格は、前半成人式の需要で動きが良いものの、後半は需要もなくやや軟調気味の動きになると予想される。

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格
かすみそう	実績 １７年	８１	６９
	実績 １８年	８５	６８
	実績 １９年	６８	６８
	実績 ２０年	７３	５６
	実績 ２１年	６８	６３
	５ヶ年平均	７５	６５
	２１年見通し	７０	６５

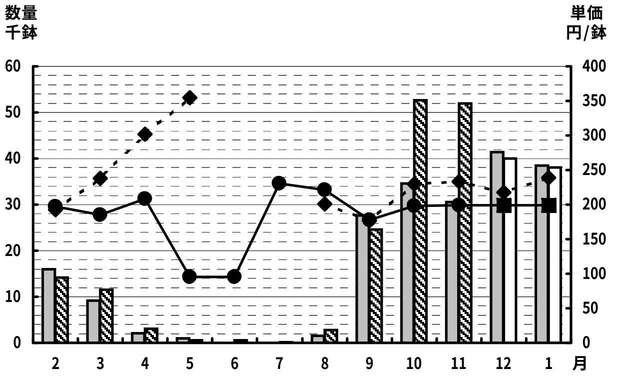
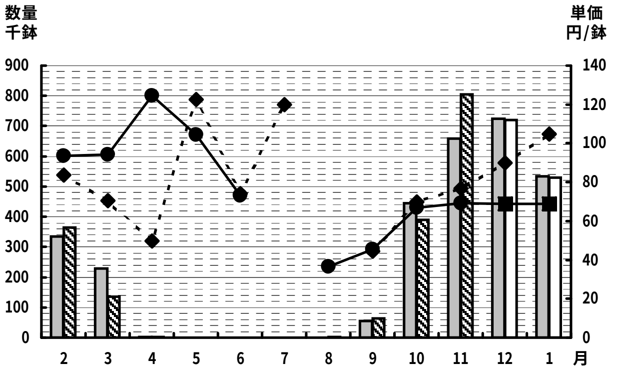
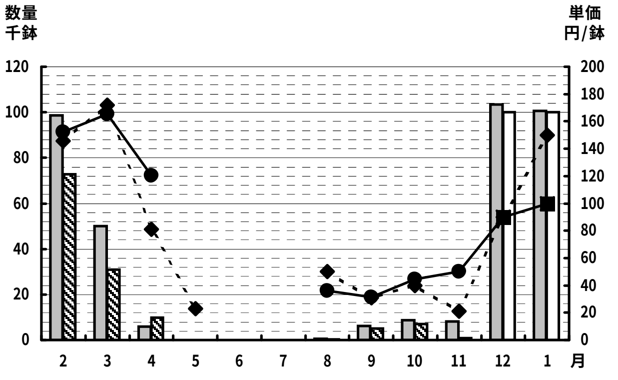


概要　和歌山、熊本、高知等から入荷。各産地とも生育は順調に推移しているが、気温次第では入荷の増減が予想される。価格は、前半成人式の需要があり堅調な動きも、後半はやや苦しい動きとなろう。

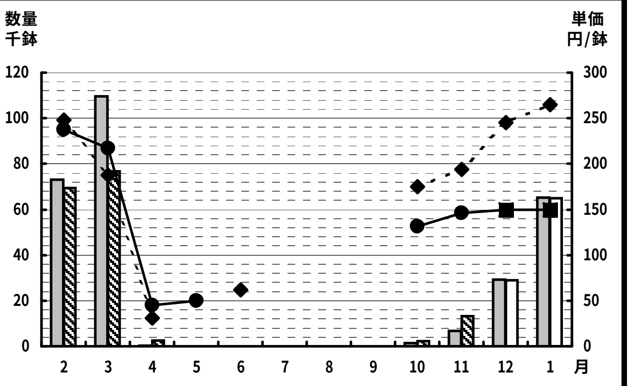
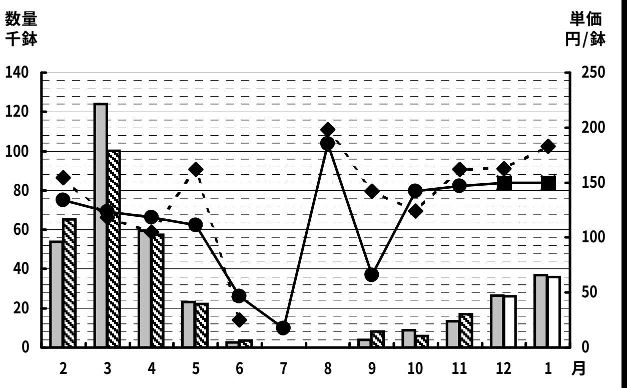
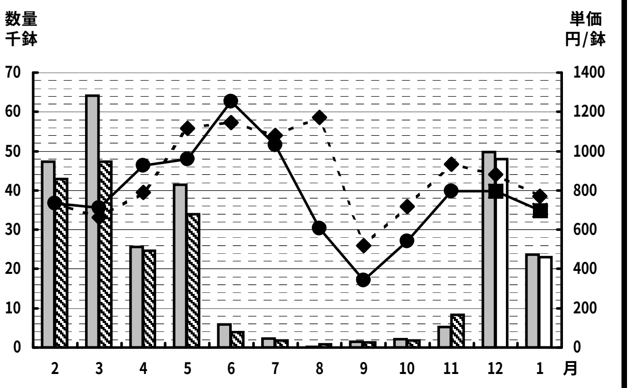
単位：千本、円／本

品目	区分／実績等		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ゆり	実績	１７年	１２６	２１１	
		１８年	１４０	１９６	
		１９年	１２８	２０２	
		２０年	１２３	１９４	
		２１年	１１２	２２０	
	５ヶ年平均		１２６	２０４	
	２１年見通し		１１５	２２０	
	概要	高知、愛知を中心に入荷。オリエンタル系は高知、愛知から、てっぽうゆりは高知、鹿児島から入荷し、生育は順調。前半多めの入荷も、後半やや減少する。価格は、前半やや鈍い動きも、後半は回復して堅調な取引展開となろう。			
洋らん	実績	１７年	２９１	５８	
		１８年	２５１	６５	
		１９年	２４６	７８	
		２０年	２４０	７２	
		２１年	２１８	７９	
	５ヶ年平均		２４９	７０	
	２１年見通し		２１０	７８	
	概要	高知、徳島、愛知、宮崎等と輸入物が入荷。国内産は気温低下に伴い入荷量は減少する。輸入ものの入荷は前年並み。価格は、前半成人式の需要により引き合い強いが、後半一段落し、やや軟調気味の動きとなろう。			
ばら	実績	１７年	３０５	６８	
		１８年	２５０	６９	
		１９年	２７９	７５	
		２０年	２５３	８０	
		２１年	２９３	７０	
	５ヶ年平均		２７６	７２	
	２１年見通し		２９５	７２	
	概要	愛知、岐阜、和歌山等から入荷。長野は終了し、暖地産中心の入荷。各産地とも生育は順調に推移、入荷は前年並み。価格は、前半成人式需要により引き合い強く堅調も、後半はやや鈍い動きとなろう。			
枝もの	実績	１７年	８８４	３９	
		１８年	８６８	３８	
		１９年	９０６	３９	
		２０年	７９４	３８	
		２１年	７５３	４０	
	５ヶ年平均		８４１	３９	
	２１年見通し		８００	３８	
	概要	長野、静岡を中心に、愛知、山形等からも入荷。サクラ、ボケ、ユキヤナギ、コデマリ等の促成ものを中心に入荷。価格は、前半稽古が休みのため動きが鈍く、後半稽古が再開されると堅調な動きとなろう。			

鉢　花（愛知豊明花き地方卸売市場　　１２月４日現在）　　　　　単位：鉢、円／鉢

品目	区分 実績等		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
エリカ	実績	１７年	５２，１４８	２６８	
		１８年	４３，３５３	２２３	
		１９年	３５，５８５	２２２	
		２０年	３８，３３５	２０７	
		２１年	３８，４９６	２３９	
	５ヶ年平均		４１，５８３	２３４	
	２２年見通し		３８，０００	１９９	
	概要	入荷量は昨年並みか。この品目は種類が多く、バラエティーに富む。小鉢の引合いは強いが、大鉢になるにつれて動きが鈍くなる。鮮やかな色合いの品種が好まれる。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位新潟（３０%）、２位山梨（２６%）、３位静岡（１９%）となっている。			
プリムラ	実績	１７年	５７５，９９０	１１５	
		１８年	６１７，３５３	１００	
		１９年	６００，５１６	１０４	
		２０年	６４７，７０５	１０２	
		２１年	５３２，６８５	１０５	
	５ヶ年平均		５９４，８５０	１０５	
	２２年見通し		５３０，０００	６８	
	概要	入荷量は昨年並みか。単価は不景気の影響で厳しいと予想される。毎年１２月末と年始の需要が多いので、このタイミングでいかに販売するかがポイントである。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（３９%）、２位茨城（１６%）、３位三重（１１%）となっている。			
チューリップ	実績	１７年	１２３，０９７	１９９	
		１８年	１１５，８３４	１９８	
		１９年	１００，６４３	２０３	
		２０年	１０３，６６１	２３０	
		２１年	１００，６６０	１５０	
	５ヶ年平均		１０８，７７９	１９６	
	２２年見通し		１００，０００	１００	
	概要	昨年より球根の輸入単価は下がっているが、不景気の影響で生産量は昨年並みと少なく、また、単価は厳しいと予想される。入荷は４号鉢を中心に４～７号の花付きと、３号ポットの芽出しとなる。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（４３%）、２位埼玉（３４%）、３位新潟（５%）となっている。			

単位：鉢、円／鉢

品目	区分 実績等		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
サイネリア	実績	１７年	５６，９１１	２７７	
		１８年	６５，８１５	２７７	
		１９年	７２，１７６	３０２	
		２０年	６２，９９８	２６１	
		２１年	６５，１９２	２６５	
	５ヶ年平均		６４，６１８	２７７	
	２２年見通し		６５，０００	１５０	
	概要	入荷量は昨年並みか。上旬の成人式等のイベントにあわせた４～５号鉢の入荷となるが、単価は不景気の影響で厳しいことが予想される。ただ、イベント終了後は需要もさらに減少するので、ミックスを中心に上旬出荷をおねがいしたい。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（３３％）、２位埼玉（１５％）、３位宮城（１０％）となっている。			
マーガレット	実績	１７年	９１，９０４	２０２	
		１８年	６７，７４７	１９７	
		１９年	４６，７５７	２１１	
		２０年	４１，４０６	１９６	
		２１年	３６，７３２	１８３	
	５ヶ年平均		５６，９０９	１９９	
	２２年見通し		３６，０００	１５０	
	概要	生産量は減少傾向にあるため、入荷量も昨年より減少か。単価は弱含みと見るが、暖冬となれば安定した動きになるかも。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（３６％）、２位岐阜（２２％）、３位静岡（１７％）となっている。			
デンドロビウム	実績	１７年	３５，１４６	８３６	
		１８年	２７，７７８	９０２	
		１９年	２５，２０４	９５６	
		２０年	２４，７２８	１，６５４	
		２１年	２３，７３７	７７１	
	５ヶ年平均		２７，３１９	１，００８	
	２２年見通し		２３，０００	７００	
	概要	近年の２月、３月の相場と比べると、１月の方が安定感があったため、この月の入荷量は多そうである。ただ、単価は不景気の影響で厳しいことが予想される。 昨年１月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、１位愛知（５７％）、２位岐阜（１３％）、３位静岡（１１％）となっている。			

主要農林水産物の輸出入実績（2009年）

1　輸入実績

品　　名	10月						10月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円／kg	%	トン	%	千円	%	円／kg	%
野菜（生鮮・冷蔵）	39,715	101.3	5,830,137	88.3	147	87.1	455,377	86	47,716,511	79	105	91.3
トマト	284	98.9	65,625	86.4	231	87.3	1,827	92	478,140	82	262	89.1
たまねぎ	19,869	125.9	751,377	131.5	38	104.4	167,512	91	6,351,866	100	38	109.7
にんにく	1,595	92.5	207,519	116.3	130	125.7	16,754	84	1,608,018	80	96	95.5
ねぎ	2,866	93.3	246,368	83.1	86	89.1	26,350	78	2,732,452	80	104	101.6
ブロッコリー	2,224	76.1	348,619	60.4	157	79.4	27,632	85	4,488,297	80	162	93.4
結球キャベツ	349	341.0	11,883	356.3	34	104.5	12,825	219	461,215	217	36	99.2
にんじん・かぶ	3,593	114.3	153,309	107.4	43	93.9	36,650	85	1,931,668	69	53	80.7
ごぼう	3,583	76.6	145,865	68.2	41	89.0	30,550	68	1,319,573	58	43	84.9
えんどう	52	159.6	10,433	150.7	201	94.5	723	72	151,098	73	209	100.1
アスパラガス	1,268	86.0	734,254	84.1	579	97.9	8,513	82	4,553,026	72	535	88.2
まつたけ	341	99.6	2,088,449	93.9	6,125	94.3	1,461	110	5,809,021	87	3,976	78.7
しいたけ	394	120.8	98,357	105.5	250	87.3	3,295	70	773,822	67	235	94.9
かぼちゃ	120	5.6	10,265	7.6	85	134.7	82,029	82	4,802,969	63	59	76.8
果実（生鮮・乾燥）	143,588	91.8	17,633,171	82.7	123	90.1	1,727,446	94	196,232,433	85	114	90.5
バナナ	99,268	87.4	6,467,786	70.5	65	80.6	1,078,419	99	82,626,982	100	77	101.2
パイナップル	11,105	108.1	712,462	110.3	64	102.1	120,779	84	8,106,637	91	67	109.1
レモン	5,263	181.8	674,595	164.5	128	90.5	44,860	78	5,151,717	48	115	61.5
オレンジ	4,517	96.4	467,070	104.5	103	108.3	89,808	92	8,737,255	88	97	96.1
グレープフルーツ	972	140.8	90,557	121.0	93	85.9	159,370	87	13,882,976	81	87	93.8
メロン	1,543	93.0	133,355	83.7	86	90.0	26,101	84	2,584,659	74	99	88.4
ぶどう	290	144.8	76,191	136.7	263	94.4	5,870	89	979,982	66	167	74.5
キウイ	3,466	70.4	2,724,880	118.1	786	167.9	57,447	97	18,822,515	97	328	100.0
いちご	646	83.7	570,340	73.3	882	87.5	2,637	80	2,311,446	70	877	86.5
切花（生鮮・乾燥）	3,432	102.5	2,392,542	91.1	697	88.9	30,951	86	22,802,302	78	737	91.4
鳥獣肉類	137,957	81.2	56,521,340	67.6	410	83.3	1,341,541	75	574,244,174	68	428	89.9
牛肉（くず肉含む）	49,242	132.5	18,220,118	93.2	370	70.3	404,965	88	156,251,620	70	386	79.6
豚肉（くず肉含む）	55,395	72.8	28,984,090	72.1	523	99.0	589,234	72	308,819,973	72	524	99.4
鶏肉	26,623	54.4	5,167,224	28.6	194	52.6	273,289	64	66,370,622	49	243	76.9
水産物（生鮮・冷蔵・冷凍）	150,535	99.5	76,940,424	80.9	511	81.3	1,435,758	76	755,246,644	68	526	89.7
まぐろ類	17,626	106.8	13,399,597	94.5	760	88.5	177,206	83	154,772,902	74	873	89.3
さば・さんま・あじ・いわし	4,681	90.9	593,698	66.0	127	72.6	79,873	61	13,449,003	53	168	86.6

2　輸出実績

果実（生鮮・乾燥）	3,784	76.2	1,026,705	81.9	271	107.4	18,106	54	5,739,910	54	317	100.7
うんしゅうみかん	920	52.0	80,213	45.7	87	87.8	1,044	31	171,264	36	164	118.7
りんご	1,597	97.0	494,887	88.1	310	90.8	12,626	50	3,197,936	43	253	86.4
なし	66	31.9	24,370	27.1	367	84.7	1,613	106	647,262	97	401	91.5
野菜（生鮮・冷蔵・乾燥）	-	-	398,883	101.7	-	-	-	-	2,552,910	65	-	-
緑茶	189	136.4	335,419	113.9	1,773	83.5	1,607	94	2,818,139	84	1,754	89.2

資料　農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関　連　指　数

年月		消費者物価指数（全国 平成17年＝100／愛知県 平成17年＝100）総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 6月	100.4	101.6	105.8	105.5	103.9
	7月	100.1	97.0	97.6	105.4	104.4
	8月	100.4	110.4	105.3	105.0	105.3
	9月	100.4	111.3	101.8	105.1	103.6
	10月	100.0	98.5	98.2	104.5	103.1
愛知県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年 6月	101.2	100.0	104.3	100.8	104.5
	7月	100.6	96.9	100.4	101.3	104.0
	8月	101.0	109.2	108.7	103.1	104.3
	9月	101.0	110.3	107.3	101.5	102.3
	10月	100.5	100.7	97.4	101.5	105.4

資料　全　国‥総務省統計局「消費者物価指数月報」
　　　愛知県‥愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

年月	農業物価指数（平成17年＝100）農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
21年 6月	93.9	98.4	98.8	101.0	101.2
7月	92.1	98.5	92.4	105.1	100.8
8月	97.8	98.3	107.8	100.5	99.0
9月	96.3	99.5	103.4	78.8	98.3
10月	90.7	96.4	81.1	89.4	98.8

資料　農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

名　古　屋　市　小　売　価　格（円）

年月＼品目・単位	うるち米（単一品種、「コシヒカリ」以外）	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5kg	1kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 6月	2,240	150	190	643	323	311	151	325	192	412	496	186	490
7月	2,240	140	161	626	305	320	147	361	199	399	559	184	524
8月	2,240	136	187	663	542	427	210	359	231	487	562	182	708
9月	2,240	166	217	661	465	318	189	372	232	473	759	224	-
10月	2,232	131	154	700	295	320	128	343	205	460	623	212	-

年月＼品目・単位	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1kg			100g	1kg		100g	1本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 6月	-	296	358	-	266	640	600	160	164	318	223	721	477
7月	-	296	394	-	254	724	600	150	158	305	219	714	494
8月	-	309	398	-	254	752	611	165	182	318	224	780	487
9月	1,038	332	408	-	239	692	609	163	170	320	220	743	477
10月	530	298	404	-	248	702	588	162	166	323	216	744	484

資料　総務省統計局「小売物価統計調査報告」

EAT MORE AICHI PRODUCTS

いいともあいち

あいち農産物生産流通レポート　№439
平成２２年１月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目１番２号
電話　（０５２）９５４－６４１７